

令和4年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

◆健全化判断比率

(単位：%)

	実質赤字比率 ①	連結実質赤字比率 ②	実質公債費比率 ③	将来負担比率 ④
小 矢 部 市	—	—	13.4	150.4
早期健全化基準	13.53	18.53	25.0	350.0

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」と表示しています。

◆資金不足比率

(単位：%)

	東部産業団地事業 特別会計	水道事業会計	下水道事業会計
小 矢 部 市	—	—	—
経営健全化基準	20.0	20.0	20.0

※資金不足額がないため、資金不足比率は「—」と表示しています。

●健全化判断比率・資金不足比率の算出方法

①「実質赤字比率」 … 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模※}}$$

②「連結実質赤字比率」… 全会計を対象とした実質赤字(又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{公営企業以外の全会計の実質赤字額} + \text{公営企業の資金不足額}}{\text{標準財政規模}}$$

③「実質公債費比率」… 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率(単年度の公債費・準公債費の大きさを表す指標)

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{地方債の元利、準元利償還金} - \text{元利、準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}{\text{標準財政規模} - \text{元利、準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}$$

④「将来負担比率」… 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率(純負債の一般財源の総額に対する相対的な規模)

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - \text{元利、準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}{\text{標準財政規模} - \text{元利、準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}$$

⑤「資金不足比率」… 公営企業会計の資金不足額が公営企業の事業規模である事業収入の規模に対する比率

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業規模}}$$

●用語の説明

標準財政規模 … 地方公共団体が標準的に収入できる市税や普通交付税などの1年間の一般財源の合計額